

2023年2月17日

報道関係者各位
プレスリリース

株式会社ウィッツ
(証券コード:4440)

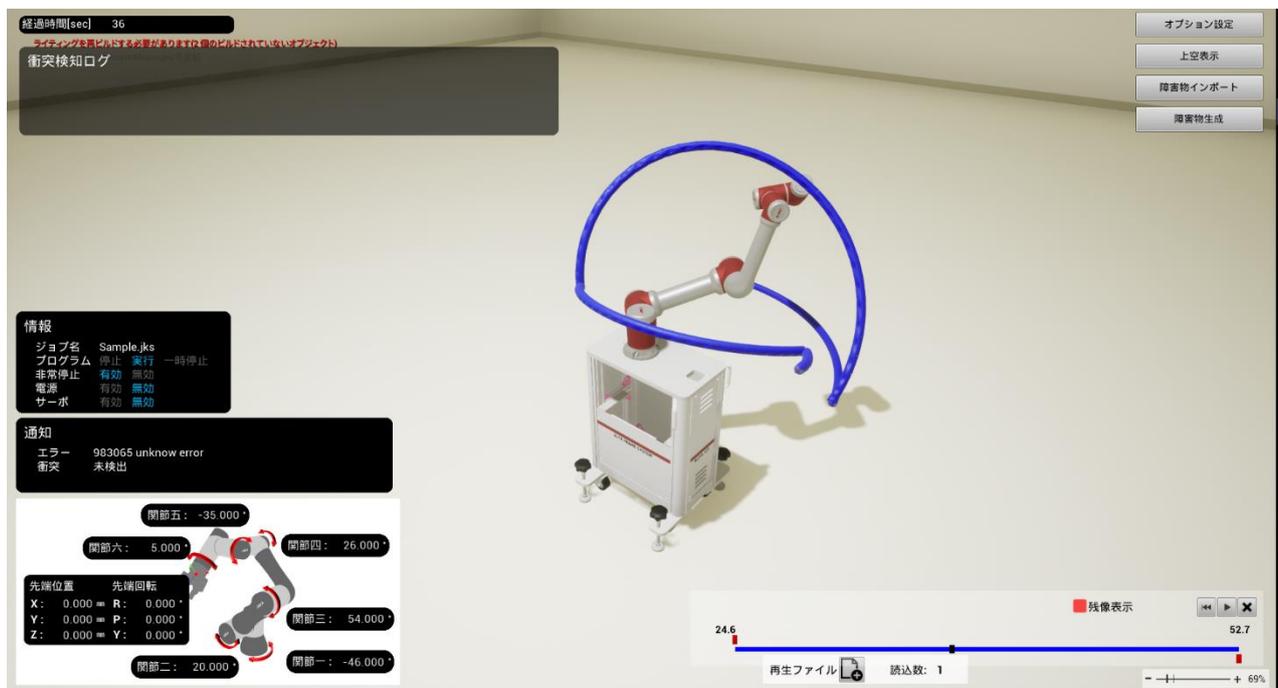
協働ロボットのティーチングを支援する デジタルツインソリューション「SF Twin™ Cobot」を今春販売

株式会社ウィッツ(本社:名古屋市中区 代表取締役社長:服部 博行 以下、ウィッツ)は、仮想空間技術を使い協働ロボットのティーチング作業を実機無しで行うことができるソフトウェア「SF Twin™ Cobot」(以下、本製品)を今春販売します。

◆SF Twin™ Cobot について

本製品は、仮想空間内に配置した協働ロボットを動作させることで、実機無しでのプログラミング作業を行うことができます。また、稼働している実機と接続する機能を備えており、リアルタイムに仮想空間と現実の協働ロボットの動作を同期させることができます。

本製品を使用する事で、机上でのロボット動作の検討が可能となり、協働ロボットの生産ラインへの導入時間を大幅に削減することができます。また、遠隔地などからリアルタイムに現場の状態を監視することができます、製造現場のDX化に期待ができます。



本製品は、2023年春のリリースを予定しており、当初の接続可能な協働ロボットは、中国製協働ロボットJAKAを対象としております。

◆仮想空間技術について

ウィッツは早期から仮想空間技術を保持しており、自動運転や先進安全技術の開発及び検証を行うためのシミュレーション環境を提供してきました。自動車業界では多くのセンサを用いた自動運転の開発が進み、その検証環境としてシミュレーションが用いられております。

昨今、工場などの製造現場においては、協働ロボットの導入や、自動搬送ロボットが増えています。自動車同様に多くのセンサを使用しており、ウィッツが自動車向けに培ってきた仮想空間技術を、製造現場でも提供する事といたしました。

◆SF Twin™と今後の将来性について

SF Twin™は仮想空間技術を用いたデジタルツインソリューションです。今回は、製品の第一弾として協働ロボット向けに「SF Twin™ Cobot」をパッケージ製品としてリリースします。

今後は、他の製造設備や他の協働ロボットへ応用していくことを考えており、ウィッツは仮想空間技術を用いて製造現場の効率化に貢献していきます。

お問い合わせ

株式会社ウィッツ

IR 担当窓口 : 佐藤・服部(孝) TEL: (052)-218-5018 Mail: ir-kanri@witz-inc.co.jp